

クラウドストレージのシャドーIT化を防ぐ 利用モデルの提案

株式会社インテック

飯田 正樹

iida_masaki@intec.co.jp

クラウドの業務利用における問題点

企業組織におけるクラウドサービス活用の重要性が高まる一方、組織の管理外でサービスが利用される“シャドーIT化”が問題となり、安心して業務に活用できているとは言い難い。

特にクラウドストレージは、容易にデータ共有が行える反面、情報漏洩事故に繋がり易い為、業務利用におけるシャドーIT化が問題となる。

利用モデルの提案による解決

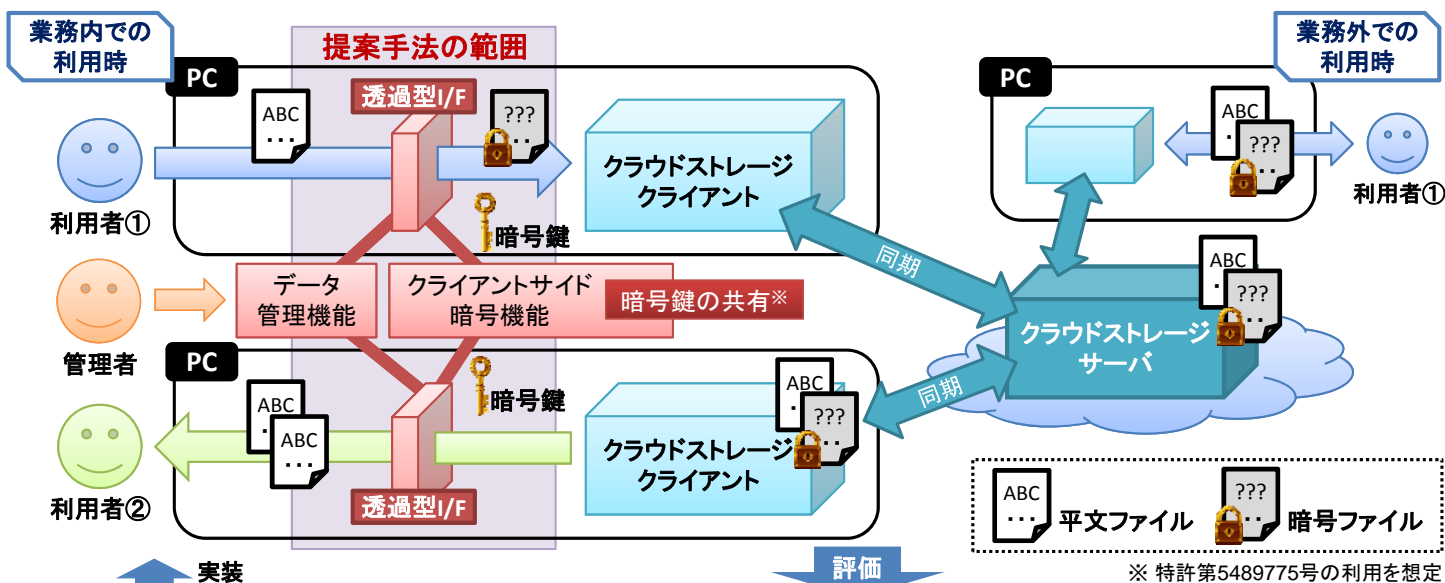
シャドーIT化を防ぐ為の要件を整理し、以下の特徴を持つ利用モデルを提案した。

- 普段から使い慣れたサービスの業務利用
- 業務データの暗号化された状態での保管
- 保管された業務データの一元管理

利用モデル実現の為、必要となるセキュリティ機能群を、サービスの使い勝手を損なわぬよう“透過的”に挟み込む手法を考案、実装した。

提案した利用モデルの実現

- ✓ 透過型I/Fにより、利用者が普段から使い慣れたクラウドストレージを、使い勝手そのままに業務で利用可能。
- ✓ 業務データは暗号化された状態でクラウドに保管、保管された業務データは管理者による一元管理が可能。



実装

- 利用者と管理者の両方が満足する利用モデルを提案

評価

- シャドーIT化の原因を整理し、解決に必要な要件を定義。
- 定義した要件に関して既存のクラウドストレージ(個人向け/法人向け)を評価。

利用モデルの評価

	クラウドストレージのシャドーIT化を防ぐ要件	個人向けサービス		法人向けサービス		提案手法	【評価結果】 提案手法により、シャドーIT化を防ぐ為の要件を概ね達成。安心して業務に利用可能と判断。 【今後の展開】 クラウドストレージ以外のクラウドサービスにも対象を広げて適用。
		A	B	C	D		
利用者の要件	使い慣れたUI/UXでの利用	—	—	○	×	△	
	様々なクラウドストレージへの対応	—	—	×	×	○	
	組織所有の業務データの共有	○	○	○	○	○	
	管理者からの利用者プライバシーの保護	—	—	○	○	○	
管理者の要件	クライアントサイド暗号による情報漏洩対策	×	×	×	○	○	
	管理者によるデータ共有範囲の管理	×	×	○	×	△	
	管理者による保管データの証跡管理	×	×	○	×	○	
	適切な事業者・サービスの利用	×	×	○	○	×	
	導入・運用コストの低さ	○	○	△	×	△	

○: 対応, △: 一部対応, ×: 未対応, —: 評価なし